



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R6,2,5 No,23



八代小ホームページ

水俣病や環境について学んだことを発表しました

1月19日（金）の6校時、5年生は、4年生児童や保護者に向けて、水俣病や環境について学んだことを発信（発表）しました。

子供たちは、12月から1月にかけて、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」（水俣病資料館や環境センターなどを訪問）で学んだことを中心に、その内容をパワーポイントにまとめたり、発表原稿を書いたりして発信の準備を進めてきました。当日は、「県政テレビ」の取材がある中で、その発表会となりましたが、子供たちは堂々とした態度で、聞く人が分かり易いように工夫して伝えていて、大変感心しました。

発表会後には、「くまモン」との記念撮影もあり、子供たちは大喜びでした。

当日の様子は、2月9日（金）午後8時54分からTKUで放映されます。



©2010熊本県くまモン 2024, 1, 19



講師をお招きし、性的マイノリティ（LGBTQ+）について理解を深めました

1月24日（水）の校内研修（教職員研修）は、「ともに拓くLGBTQ+の会くまもと」の代表である今坂 洋志 様を講師としてお招きし、「性的指向・性自認に関する人権、性と人権」についてご講話いただきました。

講話を通して、全人口の約8%（日本人の左利きの方の割合と同等）はいるという性的マイノリティ（LGBTQ+）の方は、決して病気や異常ではないこと、そして、性的マイノリティの方が感じている生きにくさは、当事者の問題ではなく、日本社会に存在する性的マイノリティに対する偏見や差別意識が生み出したものであり、私たちが全員で改善しなければならない重大な人権問題であることを強く認識しました。

今回の研修で学んだことを生かし、教職員自身の人権感覚を高めるとともに、子供たちへ誰もが多様な中の一人であることを伝え続けていきたいと思えます。それが、トランスジェンダーで悩んでいる子供への「違っていいんだよ」というメッセージになると思えます。引いては、全ての子供の安心や豊かな心づくりにも繋がるものなので、今後、全教職員が全教育活動において、このことを常に念頭において関わりたいと思えます。



八代市長と児童によるランチ会が開催されました

1月26日（金）、八代市長の中村様を始め八代教育委員会の方が本校を訪問され、6年1組の児童とともに給食を食されました。

これは、全国学校給食週間（1月24日～30日）に合わせ、給食をみんなで一緒に楽しく「食べる」体験を通して、好ましい人間関係を育てることを目的に開催されたものです。

会は、児童代表の歓迎の言葉に続き、中村市長様のご挨拶、栄養教諭による給食メニューなどの説明、会食、お礼の言葉と続きました。子供たちは、最初緊張気味でしたが、時間の経過と共に笑顔も見られるようになり、普段お会いできない方々との会食を楽しんでいました。

ちなみに当日の給食メニューは、「【熊本 八代の味】セルフ高菜めし、牛乳、太刀魚のカボスソースかけ、トマトだご汁」でした。

